

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
		○	○		○		○	○		○	○	○	○	○

## 企業の概要

社名	株式会社ワンマンバンド	都道府県	東京都
業種	不動産業、物品賃貸業	従業員数	7名
事業概要	不動産賃貸、販売、バン格拉ディッシュ不動産コンサルティング		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則に規定
テレワーク推進担当部門	全部門
テレワーク対象者	全職種
実施者数	7名
実施日数	月16日以上

## テレワークの導入・拡大の経緯

日常的にFAXが使用され、免許取得の要件が「独立した事務所の設置」であるレガシーな不動産業界で、弊社はICTをフルに活用したビジネスモデルで差別化を図っています。おそらく業界で他に例はないのではないかと思います。

## テレワークの概要・特徴

おそらく業界で他に例はないのではないかと思います。  
 通常のテレワークの形態と異なり、弊社では週一度の本社での全体会議を除き、基本的に事務業務はすべて在宅勤務で行われます。業務に関連する書類は全て電子化されてクラウド上の共有サーバーに保管され、スタッフは自宅PC、モバイルPC、携帯電はからいつでもアクセス可能で、必要に応じ追加、変更を加えます。営業スタッフは事務所に立ち寄ることなくモバイルを活用し、自宅から直接訪問先に向かい、仕事を進めています。  
 バン格拉ディッシュの現地法人も同様で、スタッフは同様に在宅勤務となり、定例のビデオ会議(スカイプ利用)にて連絡を取りながら業務を進めています。

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- ①テレワークを基本とすることで、業界水準の給与体系で圧倒的に優秀な社員を採用することができた。子育て中の女性の就業機会は非常に限られており、そこにターゲットを絞った活動で採用した女性が、業務の中心になっている。
- ②ライフバランスの充実。通勤時間がほぼゼロ。勤務時間も完全にフレックスであるため、スタッフは昼間でもいつでも子供の送り迎え、学校行事などに参加することができる。
- ③ビデオ会議での打ち合わせ、ファイル共有、電話転送、在席確認、すべてイントラネットを活用して行っている。必然的に社員にはITスキルが求められ、競争力強化に不可欠なスキルの習得がなされている。
- ④家庭を持つ女性を中心にスタッフに据える大きなリスクは配偶者の転勤だが、在宅勤務が基本なので、転勤に伴い職をあきらめる必要がない。
- ⑤少人数で、北海道から九州まで全国の不動産を扱っているのが必然的に出張が非常に多くなるが、テレワークがスタンダードなので、業務上支障が全くない。
- ⑥今後、関西を手始めに各地でスタッフを採用していく予定だが、事務所を開設していくのに比べ圧倒的にハードルが低い。すでにバン格拉ディッシュで実現し、海外でも問題なくワークしている。